



ぱんだ組だより No. 8

令和3年12月6日
ぱんだ組担任 本間 ひかり

2学期も残すところ20日ほどとなりました。幼稚園玄関では、年中組のみんなが描いた個性豊かなサンタさんが、幼稚園の90歳のお誕生ケーキをにぎやかに囲んでいます。クリスマスが来るのを心待ちにしている、ぱんだ組の子どもたちです。

今回の学級だよりでは、グループ活動の様子と、先日の隅田川テラスへの花植えの様子をお伝えします。

グループの友達と一緒に・・・

10月から、幼稚園生活の中にグループ活動を取り入れています。グループのメンバーでお弁当の際の「いただきます」「ごちそうさま」の挨拶当番に順番に取り組んだり、ヒヤシンスを一緒にお世話しながら育てたりしています。

グループごとに育てているヒヤシンスには、すてきな名前が付いています。ヒヤシンスの名前は、グループの友達と相談をして決めました。相談を始める前に、ぱんだ組のみんなには、相談をするときの約束を2つ話しました。1つ目は、グループの友達一人一人が必ず自分の気持ちを伝えること。（「〇〇がいいと思う」、「～ちゃんの考えがいいと思う」など）2つ目は、決める前にみんなが「いいよ」と納得しているかを確認すること。相談する中では、「わたしは〇〇がいい！」「ぼくは〇〇がいい！」となかなか一つに決まらない様子がありましたが、友達や教師と一緒に「どうしようか…」と考える中で、「じゃあ〇〇っていうのはどう？」と新しいアイデアを出したり、「〇〇にしようか」と友達の考えに共感したりする姿が見られました。

また、グループじゃんけんも繰り返し楽しんでいます。グループじゃんけんでは、グループの友達と「グー」「チョキ」「パー」の3つの中から何を出すか一つ決めて、体じゃんけんに出します。数人の友達と相談して決める経験を少しずつ積み重ねているところです。

自分の気持ちを伝えること、友達の気持ちを聞くこと。どちらも幼稚園で友達と一緒に生活を進めていく中で、とても大切なことだと思っています。子どもたちには、少人数で相談して何かを決める経験を積み重ねる中で、友達と考えが違ったときにも「こうしたらいいんじゃない？」「こうしてみようよ！」と解決のために考えたり、行動したりする力を少しずつ身につけていってほしいと思っています。



～ヒヤシンス～
「わたしがポットを持ってるね！」



～当番活動～
グループの友達と気持ちをそろえて…
「それでは、みなさんごいっしょに」
「いただきます」

～グループじゃんけん～
みんなで、ひそひそ声で相談。
「なにを出そうか…」



じゃーんけーん、ぼん！
チョキとチョキであいこだ！

花植えに行ってきたよ♪

先日は、澄んだ青空と暖かな日差しの中、年中組みんなで隅田川テラスに花植えに行ってきました。花のお世話をしてくださっている東京都公園協会の花守さんに、「キンセンカ」「ピオラ」という花の名前と、苗の植え方を教えていただき、一人一人が自分の気に入った苗を植えました。

自分たちの住んでいる地域に自分の植えた花が咲いていることは、子どもたちにとって、とても嬉しいことだと思います。近くにお出かけの際には、お子さんと一緒に花壇の様子を見たり、おうちから空のペットボトルに水を汲んで持って行き、お子さんと一緒に水やりをしたりしていただけたらと思います。

幼稚園生活の中で、花守さん活動や絵本の会など、地域の方と交流できる機会を大切にしながら、子どもたちが自分の住む地域に愛着をもったり、関心をもったりすることにつなげていきたいと思っています。

交通ルールを守って
行き帰りをしました。



草むらを通して…
「探検みたいだね！」

ここは石の道だよ！



「根っこが隠れるように
土をかぶせるんだよね！」



「うわぁ！白い根っこが
たくさ〜ん！」



みんなで、植え込みでかくれんぼ♪
「もういいか〜い！」
「ま〜だだよ！」



～絵本の会～
地域の読み聞かせボランティア
リプリントさんが読み聞かせをして
くださいます。